

ODAの点検と改善 (「骨太の方針2005」を受けた取組)

平成17年8月3日
外務省経済協力局

「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」(平成17年6月21日閣議決定。「骨太の方針2005」という。)において、「ODA事業量の戦略的拡充と改革」に係る施策が盛り込まれたことを受け、ODA大綱及び中期政策を踏まえ、以下の取組を進める。

1. 主要課題

～成果を重視するODAに向けて～

(1) 戦略的なODA実施のための援助政策の企画

国別アプローチの一層の強化 等

(2) 効率的・効果的なODAの実施

コストの縮減等を通じた事業の効率化 等

(3) チェック体制の拡充

監査・評価の充実
モニタリングの強化
不正行為への対応の強化
チェック結果の企画・実施への着実な反映 等

2. 今後の段取り

外務省において、ODA総合戦略会議における議論を踏まえ、また、政府開発援助関係省庁連絡協議会等を通じて関係省庁との連携を図りながら、検討を進める。その上で、平成17年末を目途に、ODAの点検と改善の取り進め方(注)についてとりまとめの上公表する。

(注) 点検と改善のために必要となる予算及び人員の確保の必要性も含む。

(了)